

**研究集会「官民オープンデータ利活用の動向及び人材育成の取組」
プログラム**

日時：令和2(2020)年11月17日(火) 10:00～18:30 (9:30 受付開始)

会場：Zoomによるオンライン開催

※本研究集会は、情報・システム研究機構主催の「公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムシンポジウム 2020」と共同で開催しております。

本研究集会は、学術研究や高等教育目的でのマイクロデータの二次的利用（「匿名データの提供」、「委託による統計の作成等」（オーダーメイド集計）、「調査票情報のオンサイト利用」等）の制度を利用した研究者等が、その研究結果を報告し、討論、質疑等を行うものです。

本研究集会の特色として、公的統計マイクロデータを軸として異なる研究領域の研究者による報告でプログラムが構成されており、様々な領域の研究者が一同に会して研究報告等を行うことで、各領域の研究者のみならず、関係省庁をも刺激する内容となっております。

《タイムテーブル》

司会進行：三神均（(独)統計センター）

開会挨拶（10:00～10:15） 研究代表者：田中 雅行（一橋大学）

1 特別講演：「海外における公的統計と行政記録情報の二次利用の現状」（10:15～10:45）
伊藤 伸介（中央大学経済学部）

2 オンサイト施設紹介：統計局・統計センターオンサイト施設（11:00～11:30）

【休憩（11:30～13:00）】

- 3 地方公共団体のEBPMの取組に関する報告（13:00～13:45）
- (1) 「兵庫県地域創生戦略」改定にあたってのマイクロデータの活用
今井 良広（兵庫県企画県民部地域創生局長）
 - (2) 公的統計を用いた和歌山市空き家分布推定の予備的分析
徳富 智哉（和歌山県データ利活用推進センター）

【休憩（13:45～14:00）】

4 学術研究を目的とした調査票情報のオンライン利用に関する報告 (14:00~15:25)

(1) Impacts of Parental Socioeconomic Characteristics on Childcare Time in Japan
(日本における親の社会経済的特性が育児時間に与える影響)

李 慧慧 (神戸大学)

(2) Revisiting the Dilemma of Fertility and Female Labor Supply: New Evidence and Explanations from Japan

張 俊超 (統計数理研究所)

(3) 自閉スペクトラム症の長期追跡調査：社会生活基本調査を用いた新たな心理社会的転帰尺度の開発

岩佐 光章 (横浜市総合リハビリテーションセンター)

【休憩 (15:20~15:30)】

5 オーダーメイド集計、匿名データ、e-Stat に関する研究成果の報告 (15:40~17:35)

(1) 家庭部門のCO2排出実態統計調査と住宅・土地統計調査のマイクロデータを活用したCO2排出量推計に関する研究

重 浩一郎 (東北大学)

(2) 子育て世帯の余暇時間に関する時系列的推移

—「社会生活基本調査」匿名データを用いた基礎的分析—

平井 太規 (立教大学コミュニティ福祉学部)

(3) 国勢調査のマイクロデータから新開発した家族構成変数と、それを利用した世帯構造の分析事例の紹介

周防 節雄 (公益財団法人統計情報研究開発センター)

(4) e-Stat で公開された統計情報に基づく合成人口データを用いたシミュレーションの展開

村田 忠彦 (関西大学総合情報学部)

【休憩 (17:35~17:50)】

6 調査票情報の二次的利用に関する質問等への回答 (17:50~18:15)

閉会挨拶 (18:15~18:30) 山下 智志 (統計数理研究所)

《共催》

独立行政法人統計センター

一橋大学経済研究所附属社会科学統計情報研究センター

神戸大学大学院経済学研究科・経済経営研究所

公的統計マイクロデータ研究コンソーシアム

情報・システム研究機構統計数理研究所リスク解析戦略研究センター

情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設社会データ構造化センター